

No.834 May 2026

ASAHI MACHI

Public Relations

① 広報 あさひまち

2026

5

No.834

芝桜の
彩りあふれ
春うらら

若者・子育て世帯移住・定住支援事業

対象者 今年度 30 歳未満で、町内に定住し新たに就業した方や、今年度に町外から転入し就業している方
 ※昨年度に対象だった方も申請できます。
 就業は町外の事業所も可、
 就農・起業・パート・アルバイトを含みます。
 ・令和 8 年度中に朝日町へ移住した、中学生までのお子様がいる子育て世帯

交付内容 最大 30 万円（年 10 万円分の地域商品券×3 年間）

申請期限 令和 9 年 3 月 31 日まで

ポイント
 今年度より、「若者」だけでなく「移住された子育て世帯」も支援対象になりました。



移住者引っ越し費用補助事業

対象者 町外から転入した方（事前に公的窓口にご相談した方等：要件有）

補助内容 最大 10 万円（引っ越し費用への補助／単身者は最大 5 万円）

申請期限 転入日から 3 カ月以内

ポイント
 上記の「若者・子育て世帯移住・定住支援事業」とも併用可能です。



暮らし体験推進補助事業

対象者 町外から転入を考えている方（事前に公的窓口にご相談した方等：要件有）

補助内容 交通費：最大 1 万円／宿泊費：一泊当たり最大 3,200 円

申請期限 移住体験実施日の 7 日前まで

ポイント
 交通費補助、宿泊費補助は年度内にそれぞれ 2 回まで利用できます。ただし、補助対象者の親族が町内に居住しており、その住宅に宿泊できる場合は対象外となりますのでご注意ください。



その他
 詳細な条件などもありますので、
 分からないことなどがあれば
 私たちまでご相談ください！

▶問合せ 政策推進課 地域振興係 ☎67-2112
 ※記事横の二次元コードからも詳細を確認できます。
 (町公式ホームページにリンク)

若者支援・移住定住支援をぜひ活用ください！

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
若者支援・移住定住支援をご活用ください！
- P4 特集
町立図書館の「いま」
- P8 町政スポット
・第 71 期消防団初任科訓練
・ミズノ走り方教室 ほか
- P10 祝 朝日町二十歳のつどい
- P12 まちレポ
・「雪りんご」掘り出し
・カヌーフリースタイル
ジャパンカップ in 山形 ほか
- P16 寄付採納報告
- P17 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 健康あさひるばんざい、朝日町の神社と御堂
- P19 戸籍のまど、となりのリングゴさん
桃色ウサビも祭りに参加しました
お詫びと訂正
- P20 Asahi 自然観コテージ村プレオープン

表紙の写真



4 月 28 日、安藤ケイ子さん（松原）宅の庭にお招きいただき撮影した一枚。一面の芝桜や色とりどりの花が咲き誇り、春を感じさせる圧巻の光景が広がっていました。

安藤さんは「手入れが大変だが、今年もきれいに咲いてくれた。友達も芝桜を見てきれいだと言ってくれてうれしい」と笑顔で話してくれました。

町長歳時記 (229)

命の尊さ、生への感謝

～謙虚に、
そして誠実に生きて行く～

一人の人間がこの世に生を受けるためには、父と母二人の両親があり、またその両親には、同じようにそれぞれ二人の両親がいます。つまり一人の人間には四人の祖父母がいるということになります。また、「その前には…」と数えていくと「8人、16人、32人…」となり、十代遡るとなんと 1024 人の方々がおられたということになります。さらに十代遡り、二十代前はと数えていくと、百万人を超える途方もなく巨大な数字になります。「この中の一人でも欠けてしまっていたら、今この世に自分は存在しなかったのだ」と考えた時、一人の人間がこの世に生を受けることの尊さに、深く感謝の念を抱かざるを得ません。

また、先年亡くなられた筑波大学名誉教授で分子生物学者であり遺伝学者であられた村上和雄先生が、最先端の生命科学の立場から、人が生まれて来ることの難しさを説いておられます。その言葉に、さらに驚きを禁じ得ない思いをしたところでもあります。

それは、二人の両親から生まれる子どもは何通りあるかという問題です。先生の数式によりますと『 $2^{23} \times 2^{23}$ 』という数式になり、なんとその答えが 70 兆通りだと言われているのです。70 兆通りの組み合わせの中のたった一つの組み合わせによって、人はこの世に生まれて来るのです。

このように人が生まれて来ること自体が奇跡であります。このかけがえのない一人ひとりの命の尊さを知ることにより、「生」への感謝の心が湧き上がってくるのです。

無駄な命はありません。一つひとつが大切な命です。未来に続く子どもたちが、感謝の心を持って、謙虚にそして誠実に生きて行くことの大事さを学び、成長していくことが、将来の町の、そして世界の平和と発展につながっていくものと思っています。

朝日町長 鈴木浩孝

特集

ご存じでしたか？

町立図書館の「いま」

バーコードを読み込むだけ！セルフで便利になった 町立図書館の貸出システム



従来の紙の利用者カード（上）と、スマホ上で表示できる利用者カード画面（左）。Web上で表示するには登録が必要ですので、希望する方は図書館カウンターまでお越しください



町立図書館とは
現在の朝日町立図書館は、平成12年6月に創遊館が完成したことに伴い、もともと旧開発センター内にあった「図書室」が移転して開館しました。令和8年6月をもって開館26年目を迎えます。

町立図書館では毎月の新刊や話題・人気の本のほか、来館者の皆さんからリクエストをいただいた本などを購入しています。創遊館へ移転した当時は約2万4千冊だった蔵書数も、今では約4万6千冊を数えます。

皆さんの好きな本や読んでみたかった本も、きっと見つかるはずですよ。ぜひ気軽に来館ください。

図書館の利用状況
近年はさまざまなメディアの普及も一因となり、読書離れや活字離れが指摘されています。ここで町立図書館の現状を見てみましょう。



マイナンバーカードは、バーコードリーダー機の上に置くことで使用できます。

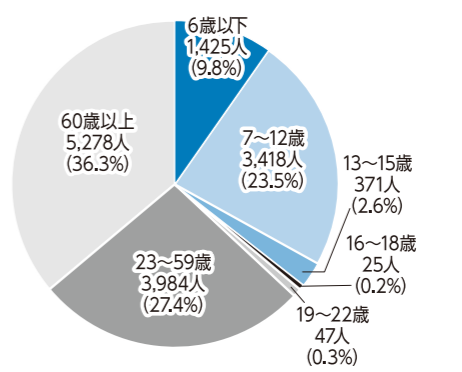
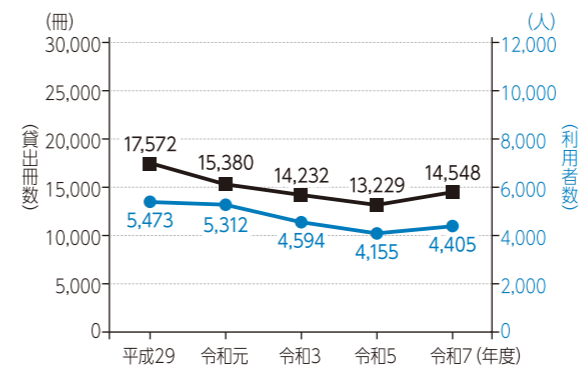
さらに、同じタッチパネルで図書館内の蔵書検索もできます。本が棚にある場合は、置かれてあるのかを図で表示して案内します。

今までもおり図書館職員も常駐していただきますので、分からないことがあれば気軽にお声がけください。

町立図書館に入ってすぐ右側のカウンターに、昨年6月からセルフ貸出機が導入されました。

セルフ貸出機では、タッチパネル左側にあるバーコードリーダーに図書館の利用者カード、もしくはスマートフォンなどから表示できるWeb版利用者カードに記載のバーコードをかざすことで、自分で簡単に図書の貸出し手続きが可能です。

また、マイナンバーカードでの貸出し手続きも可能で、専用の読み取り機も設置しており、図書館利用者カードを持ち歩かなくても、うっかり忘れてしまった場合でも、安心して利用できる環境が整っています。



現状を打破するために
そこで町立図書館では、本に興味を持ってもらい本に触れる機会を増やすため、使いやすいシステムへのアップデートや、図書館職員による特集コーナー、イベントの開催などに取り組んでいます。今回はそれらの取り組みについて、職員の皆さんに伺いました。

今までもあまり利用していなかった方も、この機会にぜひ図書館に足を運んでみませんか。きっと新たな発見があるはずです。

グラフ1は昨年度の年代別貸出冊数です。中学生・大学生世代（13〜22歳）への貸出し状況が特に少なくなっています。

グラフ2は近年の利用状況です。平成29年から令和7年にかけて、年間貸出冊数は約3千冊の減少、利用者数は約千人減少しています。令和5年・令和7年にかけては回復が見られるものの、全体としては利用状況の減少傾向が続いています。

令和2年初頭から令和5年5月頃はコロナウイルス感染症による外出規制もあり、その際に大きく落ち込んだ数字がまだ戻りきっていない現状もあります。

借りた本をシールで記録「読書手帳」つけてみませんか？

システムの更新に伴い、貸出した本が記録されたシールを発行できるようになりました。図書館で配布している「読書手帳」にこのシールを貼ることで、今まで借りた本を記録できると同時に、同じ本を借りてしまうことも防げます。

読書手帳は15冊分の貸出しシールでいっぱいになります。この手帳1冊をいっぱいにできた方に、オリジナルの図書館グッズをプレゼントするキャンペーンも企画中です。今後の情報を楽しみにお待ちください！



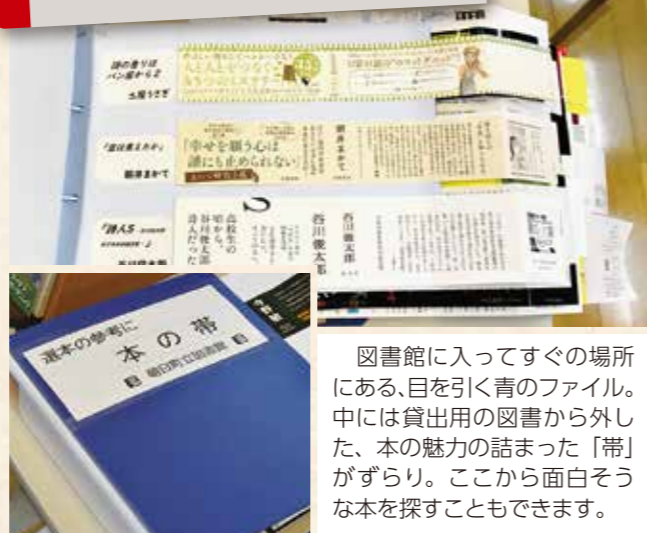
日々、進化しています 図書館の「いま」、ここも見てみて！

話題作の原作がもりだくさん



入り口すぐそばの新刊が並ぶ本棚。下段には映画やドラマなど、映像化が発表された作品の原作本をまとめて設置しています。興味を引かれる作品をここから見つけられるはずですよ。

“帯”が語る本の魅力



図書館に入ってすぐの場所にある、目を引く青のファイル。中には貸出用の図書から外した、本の魅力の詰まった「帯」がずらり。ここから面白そうな本を探することもできます。

各種イベントも開催



閉館後の特別な「夜の図書館」や、人形劇などのお楽しみ満載の「クリスマスこどものつどい」などを企画。開催情報はお知らせ板などで案内します。いつもと違う図書館をのぞいてみませんか。

充実の子育て支援コーナー



絵本がそろそろキッズスペースには育児書も設置。お子さんやお孫さんから目を離さずに同じ場所を利用できるため、大人の方も安心して過ごせます。

朝日町立図書館 基本情報

開館時間

- 平日・土曜：午前9時～午後7時（12月～3月の土曜日は午後5時閉館）
- 日曜・祝日・月曜開館日：午前9時～午後5時

休館日

- 毎週月曜日（ただし、月曜日が祝祭日にあたる場合は開館）
- 年末年始休館（原則12月29日～1月3日）
- 特別整理日

貸出冊数

- 一人5冊まで

貸出期間

- 図書、および紙芝居は2週間
- 雑誌は1週間まで

返却

- カウンターにお出しください。利用者カードは不要です。

定期開催

- おはなしかい 毎月第2土曜日に開催



Interview

誰もが利用しやすい施設を目指してさまざまな趣向を凝らしてきた町立図書館。その現状やこれからの展望について、司書の中尾さん（左）、阿部さん（右）に伺いました。

イベントなどの企画はどのような視点から考えていますか

小さな図書館だからこそ、利用者の皆さんと積極的にコミュニケーションを取ることを大事にしています。それをきっかけに、どんな企画やアプローチが利用者の皆さんのニーズに合っているかを考えています。また、ほかの図書館や書店のアイデアを参考にすることも多いです。

「本を読む効果」は何だと思えますか
他者への理解を深めることにつながると思っています。

例えば小説などでは、登場人物の行動の背景や気持ちを知ったり想像したりすることで、「なぜその言動を取ったのか」を考える力が養われます。その力は現実の人間関係やコミュニケーションにも通じるもので、相手の立場に立って考えることにもつながります。そして豊かな心や多様な視点を育み、複雑な社会を生き抜く力になります。

また、小説に限らず漫画やライトノベルでも、文章を読むことに慣れることができます。まずは文字に対する抵抗感を減らすことができれば、学校の学習にも役立ちますし、大きなメリットだと思います。

図書館の役割をどのように考えますか

小さい頃から身近で本に触れられる機会を提供することが、私たちの最も大きな役割だと考えます。

「団体貸出」として、保育園や放課後児童クラブに月1回、まとまった冊数を貸し出していますが、多くの本に触れてもらえるという点で効果を感じています。

友達と一緒に読んだ本や、先生に読んでもらった本は思い出に残るようで、図書館にその本の続きを読みに来てくれる子も多いです。

また、健康福祉課と連携し、お子さんが3歳になるまでに3冊の本をプレゼントしています（おむね7カ月、1歳半、3歳）。毎月の「おはなしかい」（左記事）も含め、小さい頃から本や文字と触れ合えるような取り組みを続けていきます。

毎月開催 / おはなしかい



5月9日に行われた「おはなしかい」には、約10名のお子さんと保護者が参加。絵本の読み聞かせのほか、主催する「おはなし会ぶなの実」の皆さんによる道具を使ったさまざまな遊びも実施されました。参加したお子さんからは「いろんな仕掛けがあって楽しい」との声があり、保護者からも「図書館での開催なので、子どももいろんな本に興味を示してくれている。とても楽しんでいるようで、また参加したい」との声が上がっていました。

これから実施予定の企画は 6月28日に行われる「あさひ学びタイム」に、町立図書館として初めて参加します。図書の貸出しや返却の業務、返ってきた本を棚に戻す「配架」など、図書館の基本的なお仕事体験ができます。加えて絵本の読み聞かせ体験も企画しています。いつもは聞く側の皆さんが、読み聞かせる側を経験してどのように感じるのか楽しみですよ。

最後に、町民の皆さんへひとこと

利用者の皆さんとの距離の近さを大切にしています。どんな本を読みたいとか、最近読んで面白かった本などを、ぜひ私たちに教えてください。日頃から利用している方も、あまり来ることがない方も、いつでもご来館ください。

自衛隊募集相談員に阿部 充さん（常盤）を委嘱

■危機管理対策室 ☎67-2111



阿部充さん（中央）と明石自衛隊山形副本部長（右）

4月21日、自衛隊募集相談員として阿部充さん（常盤）が委嘱されました。自衛隊募集相談員は、地域で自衛隊志望者の相談に応じることや、自衛隊の広報活動を支援することを目的として設置されており、任期は2年間となります。今回の委嘱で相談員4期目となる阿部さん。「近年は災害も多発しており、自衛隊の存在はますます重要になっていく。自衛隊に少しでも興味があれば、ぜひ気軽に相談してほしい」と意気込みを語りました。

町区長会長に小林重敏氏が就任 令和8年度 朝日町区長会

■政策推進課 ☎67-2112



小林 重敏 氏

4月30日、町内全55区の区長が一堂に会する町区長会春季定例会が役場大ホールで開催されました。定例会では、事前に開催された評議員会（構成員：中・西・北各区長会の代表者合計14人）での協議内容と決定事項を報告。小林重敏さん（北部地区区長会長／大谷第五）が会長に、浅岡正昭さん（中部地区区長会長／元町）、渡辺政一さん（西部地区区長会長／能中）の両名が副会長に選任され、新たな役員体制となりました。また、令和8年度の町区長会事業計画案と予算案を協議し、いずれも承認されました。同区長会役員の任期は、2年間（令和10年3月31日まで）となります。

今年度の区長一覧

※緑文字は新任区長、数字は4月1日時点の世帯数

■中部地区【25区】

本町	鈴木 正明	64
西町	浅岡清二郎	103
栄町	多田 俊司	53
助ノ巻	阿部 哲也	52
大町	鈴木 俊一	148
元町	浅岡 正昭	50
西原	阿部 啓一	16
前田	沢 鈴木 芳太郎	63
新	宿 今井 義人	59
四ノ	沢 伊藤 真悦	56
小	原 鈴木 秀浩	37
宿	佐藤 茂之	30
沼	向 菅井 道也	54
平	大 隅 近衛 秀爾	15
大古	楨 清野 英司	23
送	橋 渡邊 淳	27
下	芦 沢 渡邊 正良	14
水	本 岡崎 錦一	18

杉山	齋藤 和彦	16
松原	松尾 信一	24
宇津野	阿部 和寿	37
大雪	滝 柴田 勝義	19
緑町	谷 鈴木 義彦	10
	町 花山 護	50

■西部地区【16区】

常盤	佐竹 長司	75
夏草	阿部 正典	45
長沼	笹原 昌俊	11
西船	渡 大井 洋二	39
八ツ	沼 吉村 裕	37
能中	渡邊 政一	36
高田	長岡 広二	10
太郎第一	長岡 孝司	38
太郎第二	松田 道明	26
太郎第三	大井 正直	18
石須	部 長岡 周 一郎	7
立木	阿部 直行	23

■北部地区【14区】

大谷第一	大谷 啓一郎	27
大谷第二	川口 幸男	33
大谷第三	白田 淳一	31
大谷第四	鈴木 吉彦	25
大谷第五	小林 重敏	65
大谷第六	菊地 高	41
大谷第七	堀 修一	11
中沢	堀 和彦	32
真中	鈴木 孝幸	33
舟渡	五十嵐 賢一	23
栗木	沢 久間 貢一	78
川通	佐藤 郁男	13
大暮	山 阿部 喜栄	23
大沼	白田 修	21

第71期消防団初任科訓練

■危機管理対策室 ☎67-2111



実際に消火活動等の際に使用するホースを用いての放水訓練の様子

4月12日、第71期朝日町消防団初任科訓練が朝日町役場を会場に行われました。この訓練は、新入団員が消防団の役割や、火災時における基本的な対応を学ぶために実施されています。好天に恵まれた当日は、新入団員11人が参加。開講式では長岡秀典団長が「火災はもちろん、近年頻発化・大規模化する自然災害への対応においても、自身の安全確保を最優先にしながら活動してほしい」と激励の言葉を送りました。開講式後には機械器具操作訓練などを実施。受講者の一人は「今日学んだことを消防活動に活かし、町民の安心・安全を守るために頑張ります」と話していました。

ミズノ走り方教室

■教育文化課 ☎67-2118



西五百川小学校での走り方教室の様子

4月21日、町内3小学校の5・6年生を対象とした走り方教室が行われました。町と「総合的なまちづくりにおける連携協定」を締結しているミズノ株式会社と共同で毎年行われているこの教室。5月に開催予定の町小学校陸上競技記録会に向け、児童が体の動かし方を学ぶとともに、教員の指導の参考とできることを目的としています。児童たちは、効果的なウォーミングアップや走る際のフォームなどを学習。「習う前よりも速くなった気がする。来月の陸上記録会に向けて、繰り返し練習していきたい」と意気込んでいました。

町内の観光3施設にデジタルサイネージを設置

■総合産業課 ☎67-2113



りんご温泉に設置したデジタルサイネージ

株式会社朝日町総合産業開発が運営するAsahi自然観、道の駅あさひまち、りんご温泉に、デジタルサイネージ（ディスプレイなどの電子機器を使い情報を発信するメディア）を設置しました。デジタルサイネージは、リアルタイムで情報を反映できるのが特徴です。今回導入されたシステムは、ディスプレイには町観光スポットや飲食店情報などが表示され、気になる情報はスマートフォンなどで簡単に読み込むことができます。今後はイベント情報など、さらに内容を充実させていく予定です。ので、施設にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

祝 令和8年度 朝日町二十歳のつどい

No Limit - 止まらない Ha~Ha -



4月29日、創造館を会場に令和8年度朝日町二十歳のつどいが行われました。今回の対象者は、平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの男性22人、女性25人の合計47人（平成30年4月1日以前の転出者を除く）。そのうち35人が出席しました。

式典では、保育園から中学校までの思い出の写真で構成されたスライドショーが上映されたほか、中学校3年生の親子行事で収穫したブドウで製造されたワインが贈呈されました。

実行委員長の布施珀斗さんは、「これから私たちはそれぞれの夢に向かい、新たな道歩んでいきます。仲間と共に支え合いながら、これからの人生を力強く歩んでいきましょう」と決意を述べました。

式典後は実行委員が装飾したワイン樽を使った鏡開きや、会場を移しての祝賀会を開催。仲間たちや恩師との久々の再会を喜びながら、人生の節目をにぎやかに祝いました。

祝 朝日町二十歳のつどい

No Limit - 止まらない Ha~Ha -

実行委員の皆さんに聞く 二十歳の抱負





今回受章された海野寛さん（中央左）、妻の優恵子さん（中央右）。村山教育事務所長（左）より伝達されました

4/20 長年にわたる教員としての功績をたたえる
海野 寛さんが
瑞宝双光章を受章

高齢者叙勲として、海野寛さん（大町）が瑞宝双光章を受章し、山形県村山教育事務所長より伝達されました。海野さんは昭和38年から平成10年まで教職に従事し、平成6年からは上郷小学校校長などを歴任。退職後は朝日町の町史編纂専門員なども務めました。

海野さんは「分校での勤務や複式学級の担任の経験を活かし、へき地教育に力を入れてきた。こんなに立派な章をいただけるとは夢にも思わなかった。妻の支えにも本当に感謝している。長い教員生活だったが、今振り返るとあっという間だったようにも感じる」とにこやかに語ってくれました。



4/24 新鮮な空気と数々の草花を楽しむ
“のんぽかの森”散策ツアー

りんご温泉の裏山にある「のんぽかの森」を歩いて散策するツアーが行われました。

「のん」びり、「ぽか」とできるようにとの思いを込めて名付けられたこの場所を、森林浴ファシリテーターでもある地域活性化起業人の佐藤岳利さんの案内でゆっくりと進んでいきます。

当日は15人ほどの町民が参加。山中にある花畑でお茶とお菓子を楽しむ時間や、自然の中に寝転がって周囲から聞こえてくる音や香りを感じる時間などが設けられ、参加者は会話や交流を楽しみながらリラックスした時を過ごしていました。

4/27~29 一人ひとりが自己ベストを目指して
第70回山形県縦断
駅伝競走大会

春の出羽路に健脚を競う第70回山形県縦断駅伝競走大会が行われ、寒河江・西村山チームは、総合タイム16時間59分28秒を記録し、総合8位という結果を収めました。

当町からは安藤茂昭選手（松原／山形県社会福祉事業団）、堀博道選手（中沢／株式会社山形ミートランド）、鈴木隆二郎選手（大暮山／朝日中学校3年生）がエントリー。

選手たちは29区間・約306.9kmを力強く疾走。28日に当町を通過した際には、沿道に集まった町民からの熱い声援に背中を押されていました。



▲朝日町役場前の中継所にてタスキリレーを行う寒河江・西村山チーム

◀初日の第2区（酒田～黒森）を力走する堀博道選手



▲雪りんご研究会の皆さん
◀道の駅あさひまちでのドライブスルー販売

4/7 今年もおいしくできました
「雪りんご」掘り出し

収穫時の鮮度が保たれ、糖度が高くみずみずしさが特徴の「雪りんご」。貯蔵場所のAsahi自然観駐車場では、名残雪が降る中、「雪りんご研究会」（志藤修治会長／栗木沢）のメンバーなど約20人により、掘り出し作業が行われました。

17回目を数える今年は、コンテナ343箱を貯蔵。掘り出された雪りんごは、道の駅あさひまちにて予約制ドライブスルー販売が行われたほか、新幹線を活用したサービス「はこビュン」による東京への輸送、そして今年は新たにシンガポールへも輸出するなど、年々取り組みへの注目度が高まっています。



◀激流を華麗に乗りこなし、技を次々繰り出す選手。決勝戦終了後には、お互いの健闘をたたえ合っていました

4/12 激流の中、カヤックを巧みに操り競う
カヌーフリースタイル
ジャパンカップ in 山形

玉ノ井地内にあるカヌーランド（通称：タンの瀬）にて「カヌーフリースタイルジャパンカップ in 山形」が開催されました。

ワールドカップへの派遣選手選考会も兼ねているこの大会。波が大きく激しいため、技を繰り出すまでの位置取りが難しいと言われるタンの瀬で、全国各地から集った選手たちが2m前後のカヤックを操り、技の得点を競いました。選手たちは果敢に波に挑み、その巧みな技の数々に、観戦に訪れた人たちは「難しそうな技が次々と繰り出され、とても見応えがあった」と話していました。



◀獅子頭に頭をかんでもらい、今年一年の無病息災や疫病退散を祈ります



4/19 和合地区で響く祭りの音色
水上神社例大祭

和合区内にある水上神社の例大祭が行われました。この祭りは毎年4月の第3日曜日に行われており、天狗やおかぐらをはじめとした行列が水上神社を出発し、和合区内を練り歩きました。

また、同地区内の小学3～6年生15人による「和合太鼓」も、和合荘や道の駅あさひまちなど区内各地で披露。住民や観客は息の合った太鼓に聞き入り、演奏後の会場は大きな拍手に包まれました。和合青年会による威勢のいいおかぐらの掛け声や笛の音色、子どもたちによる迫力ある太鼓の響きが区内に広がり、活気あふれる一日となりました。



▲杉山「山神社」「神明神社」祭礼（5月4日）



▲大沼浮嶋稲荷神社例大祭（5月5日）



▲常盤子どもまつり（5月5日）



▲豊龍神社祭礼（5月3日）



5/3~5 春の訪れとともに各地区から聞こえるにぎわい
町内各地で祭り開催

3日から6日にかけて祝日が続いた5月。大型連休中の町内各地で多くの祭りが開催されました。

3日に宮宿地区で行われたのは豊龍神社祭礼。大獅子・子獅子による獅子舞やお囃子、子どもたちのおみこしが連なる行列が、宮宿各地を練り歩きました。

また、4日には杉山区の祭礼が開催されました。約65年前に奉納された勇壮な獅子舞が、地区の人々が演奏するお囃子に合わせて激しい舞を披露しました。当日は雨模様

でしたが、舞が披露された杉山公民館前には多くの住民が集まり、その迫力ある姿に見入っていました。

そして5日には、大沼区で「大沼浮嶋稲荷神社例大祭」、常盤区で「常盤子どもまつり」が開催。大沼区では賑やかな雅楽の音色が、常盤区では「わっしょい、わっしょい」という子どもたちの元気な声が響き渡りました。

それぞれの地区の参加者たちは、晴れやかな表情で祭りを楽しんでいました。



◀大谷剣道スポーツ少年団から出場した選手の堂々たる選手宣誓で開幕

4/29 県内外のチームが練習の成果を競う
朝日町長杯争奪 剣道錬成大会

第46回朝日町長杯争奪剣道錬成大会（中学生の部）が、朝日中学校体育館で開催されました。

例年、新年度間もないこの時期に開催されている大会で、選手たちはここで新チームの顔ぶれと冬季練習の成果を確認します。今回は県内外から男子41、女子22の合計63チームがエントリーしました。

大谷剣道スポーツ少年団の選手たちは、男子2チーム・女子1チームが出場。緊張感漂う中で次々と熱戦を繰り広げ、3チームとも予選を突破し、女子チームは3位入賞を果たしました。



▲炎を前にした「護摩法要」
◀改修が完了した本堂と、その前で法要を行う登坂高典住職

4/29 217年ぶりの本堂改修を経て
若宮寺本堂 落慶式

若宮寺（ハツ沼）では217年ぶりの本堂改修工事を終え、落慶式が開催されました。落慶式とは、寺社の新築や改修完了を祝う儀式のこと。式では、密蔵院（東京都）の住職である名取芳彦氏を招いての記念講演のほか、600巻に及ぶ「大般若経」の読み上げや、炎を用いた伝統的な祈禱である「護摩法要」が行われました。

登坂高典住職は「皆さまの協力のおかげで、無事に工事を終えられた。これからも若宮寺が皆さまの憩いの場になればうれしい」と語り、当日訪れた人々は、新しくなった境内での法要に静かに向き合い、思いを寄せていました。

5/3 県内各地の小中学生が団体戦で競い合う
豊龍神社祭典奉納 柔道大会

第39回豊龍神社祭典奉納柔道大会が、町民体育館を会場に行われました。

朝日町柔道連盟（和田一則会長／小原）が主催するこの大会は、他市町村との合同チームの参加も認めており、より多くの子どもたちに柔道を楽しんでもらうことを重視しています。

中学生男子、中学生女子、小学生の3部門で実施された今大会には、県内各地から合計50チーム、231人がエントリー。指導者や保護者が試合の様子を見守る中、選手たちは得意技を積極的に仕掛け、白熱した大会となりました。





町地域おこし協力隊と桃色ウサヒの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

朝日のりんごにあこがれて

りんごの郷の担い手 さいじょうゆうた 西條 勇太 (福島県出身)



受け入れ先で摘花作業をする様子

朝日町の皆さま、はじめまして。4月からりんごの郷の担い手として活動している西條勇太です。福島県の中通り地方から愛犬・愛猫を連れてやってきました。現在は受

け入れ農家さんのもとの研修をしています。私が朝日町のことを知ったのは、3年前に東京で開催された農業人フェアでした。山形県にこんな綺麗なりんご推しの町があるんだということを知り、すぐに町を訪れました。美しい景色に歴史ある果樹園、「ここでもりんご作りをしたい」と思いました。研修中に技術をしっかりと学び、地域の行事にもたくさん参加して、朝日町ライフを楽しみたいと思います。

アート力で大谷を活性化

大谷地区まちづくり推進員 さいとうあまね 齋藤 天音 (白鷹町出身)



地区の皆さんとカラオケ交流会

このたび大谷地区で活動させていただくことになりました。初めは少し緊張していましたが、地域の皆さんに温かく迎えていただき、楽しく過ごしています。おいしいも

のを分けていただくことも多く、食いしん坊の私にはうれしい日々です。東北芸術工科大学では、アートによるまちづくりを中心に学びました。昔から好きで描いていた似顔絵やアートを活かして、人とのつながりや、にぎわいづくりを支えていきたいです。往来館では月1回の麻雀、北部公民館では月1回のカラオケ交流会を開いています。気軽に声がけいただけるとうれしです。よろしくお願します。

寄付採納報告



吉田好伸さん (右)



退職区長親睦会の皆さん

4月15日、令和8年3月末をもって惜しまれつつ90年の歴史に幕を閉じた吉田タクシー代表 吉田好伸さん (本町) より、まちづくり寄付金として金員10万円をいただきました。

吉田さんは「町民の皆さまのおかげで90年間も続けることができました。長い間、本当にお世話になりました。今回の寄付がまちづくりの一助になればうれしい」と話していました。

いただいた寄付金は、町振興発展のために活用させていただきます。

4月27日、朝日町退職区長親睦会 (原喜内代表/元大谷第五区長) より、社会福祉法人朝日町社会福祉協議会に寄付をいただきました。

今回、退職区長親睦会の解散に伴い贈呈されたこの寄付について、当日訪れた6人の元区長の皆さんは「少しでも町の高齢者の元気な生活を支える助けになればうれしい」と思いを語ってくれました。

いただいた寄付金は、地域福祉向上のための活動に活用させていただきます。

企業版ふるさと納税



北岡進代表取締役 (右)



垂石憲紀常務取締役 (左)

株式会社ミザールテック (北岡進代表取締役/東京都) より、企業版ふるさと納税として天体望遠鏡17台を寄贈いただき、4月14日に感謝状を贈呈しました。

いただいた天体望遠鏡(右写真)は、現在建設が進められているAsahi自然観コテージ村に設置します。



富士フィルム BI 山形 (熊沢好信代表取締役社長/山形市) より、企業版ふるさと納税として寄付をいただき、4月20日に感謝状を贈呈しました。

いただいた寄付金は、今年度グランドオープンするAsahi自然観コテージ村の再整備事業に活用されます。

町立図書館新刊案内



2026年本屋大賞受賞作品

「イン・ザ・メガチャーチ」

朝井リョウ 著

日経BP 日本経済新聞出版

「神がないこの国で人を操るには、物語を使うのが一番いいですよ」ファンダム経済を築く者、のめり込む者のめり込んでいた者…。三者三様の視点から、物語の功罪を炙り出す。「日本経済新聞」連載を単行本化。

「チックタック」

「約束の時計台」

にしのおきひろ 著

幻冬舎

これがないのに11時59分まで止まっているふしぎな時計台がありました。そこに住むヘンクツジジイのチックタックは、それでも毎日、歯車の手入れをしています。「あの日」からずっと…。残酷で、美しい物語。英文併記。

「日本のことばずかん いえ」

神永暁 監

講談社

「いえ」にまつわる美しい日本語に、浮世絵や美しい写真などが添えられた、子どもことばの力を育てるシリーズ、第3期第2弾発行!



【ブックテーマコーナー】

山形出身の先生③
最上一平さん

戸籍のまど

Asahi town

4月1日～4月30日届出



Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
西町	長岡 俊枝	茂利
大谷第七	村山 和子	榮一
大谷第二	白田 斉	孝
大滝	柴田 幸枝	功
常盤	長岡 浪	本人

Population

人口と世帯数

●令和8年 4月30日 現在

※()内は先月比

人口	5,551 人 (-23)
男	2,781 人 (-11)
女	2,770 人 (-12)
世帯数	2,264 世帯 (-5)

----- 4月中の異動 -----

出生	0人	転入	11人
死亡	8人	転出	26人

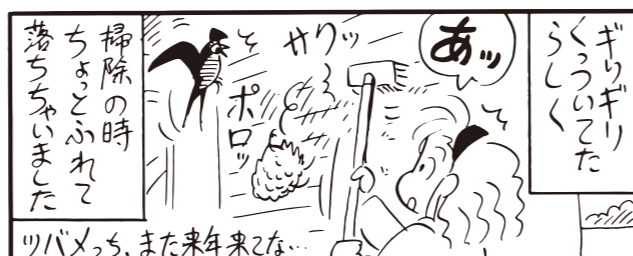
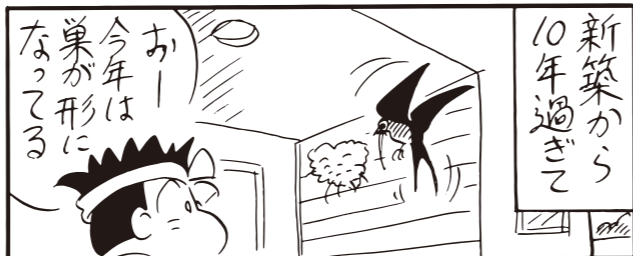
(※外国人を含む)

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

こないのリンゴさん

(379)

ホリイ



令和8年度こどもまんなか児童福祉週間標語

いこうぜ！みんな キラキラのあしたへ ゴーゴゴー！

【令和8年度 第2回】 今月の担当 … 宇佐美 晴枝 主任



- ①子どもの状況に応じて、身の回りの環境を整える
- 乳幼児の場合、危ないものは手の届かない所に置くなど「触っちゃダメ」と叱らないで済む環境づくりを心がけましょう。
- 困った行動をする場合、子ども自身も困っていることがあります。子どもが自分でできるように教えてあげたり、周囲の環境を整えてあげましょう。
- ②注意の方向を変えたり、やる気に働きかける
- 子どもはすぐに気持ち切り替えるのが難しいこともあります。時間に余裕があれば、ゆっくり待つことで子どもの気持ちや行動が変わるかもしれません。
- 難しい場合は、家から出て散歩をするなど、場面を

5月は「春のこどもまんなか月間」です。子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「こどもまんなか児童福祉週間」と定めています。

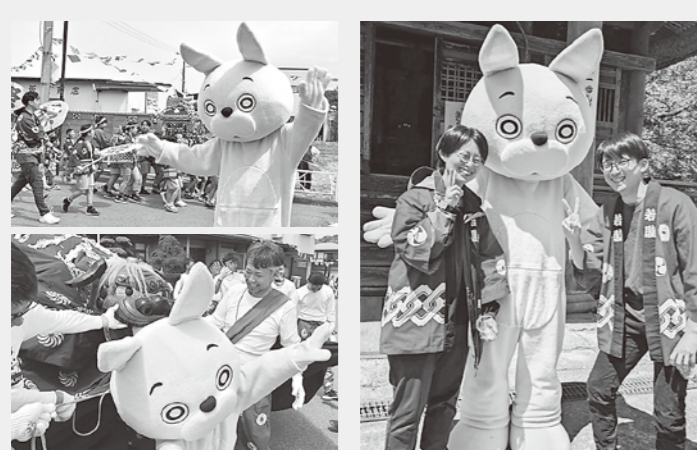
今回は、子どもと上手に関わるための2つのヒントを紹介します。

- 子育てのこと、頼れる場所があります
出産や子育てに悩んだら… 身近に悩む人がいたら… ご相談ください。
児童相談所 相談専用ダイヤル ☎ 0120-189-783
- あなたの電話で、守れる命があります
児童虐待かも… と思ったら、すぐにお電話ください。
児童相談所 虐待対応ダイヤル ☎ 189

▼健康福祉課 こども家庭センター
☎ 84-7755

子育ての不安や心配ごとがあれば、どんなことでもご相談ください。

切り替えることで注意の方向を変えてみるのもよいでしょう。



▲豊龍神社祭礼 (5月3日) ▲常盤子どもまつり (5月5日)

桃色ウサヒも 祭りに参加しました

15ページの「まちレポ」内で、各地で開催された祭りを紹介しました。その中の豊龍神社祭礼(5月3日)と、常盤子どもまつり(5月5日)には桃色ウサヒも登場しました。

おなじみのピンク色の姿が見えると、沿道の人混みの中でもすぐに観客や祭りの参加者から「ウサヒだ!」の声が聞こえ、写真撮影に応じる様子も見られました。各地の盛り上がり彩りを加える出演となりました。

【誤】 鈴木たみ子代表
【正】 鈴木紀美子代表、阿部くに子代表
※令和7年度内の事業であったため、当該年度の代表者氏名に訂正いたします。

お詫びと訂正
本紙令和8年4月号の14頁「まちレポ」内「書道教室作品展」について、書道教室の代表者氏名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

第36回 大沼六地藏尊 (大沼)

おおぬまろくじぞうそん

【所在地】大沼から勝生に至る、かつての朝日岳山伏道の入口に祀られている

六地藏尊は六体地藏ともいわれ、その形は町内でも珍しいものです。全高180cmの安山岩の石仏で、台座の上に直径約40cmの円柱が立ち、上部に高さが25cmほどの正六角柱があり、その六面に地藏尊が浮彫りされています。円柱の正面に「南無阿弥陀仏」と刻まれているのですが、他の年号等は風化が激しく読み取りが難しい状態です。

言い伝えによれば、戊辰戦争の折、官軍(明治新政府軍)が大沼に乱入し、小清に進軍の途中に六地藏を倒しそのままになっていたところ、明治の中頃に別当白田家の夢枕に地藏様が立ったので、これを復興したのが明治37年(1904)とされています。

うさひのゆると解説
六地藏信仰は、仏教の六道輪廻の思想に基づき、地獄・餓鬼・畜生・阿修羅・人間・天上の各世界で人々を救う6体の地藏菩薩を祀る信仰のことで、日本では平安末期から広まり、墓地の入り口や村境に建立されるのが一般的だよ。

朝日町の神社と御堂
町全体が博物館 朝日町エコミュージアム

Asahi 自然観コテージ村

5/1^金 プレオープン

広報あさひまち 第834号 令和8年5月15日発行

発行 山形県朝日町 編集 朝日町広報委員会
山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115 ☎0237(67)2111

印刷 (株)若月印刷
https://www.town.asahi.yamagata.jp



コテージ「風土の間隙」室内



▲コテージ「トガッタコテージ」外観



▲コテージ「空気の小屋」外観



▲コテージ「招く土間」室内

令和6年度から再整備中のAsahi自然観コテージ村。このたび、新築9棟が完成し、5月1日からプレ営業を開始しました。

新築コテージは東北芸術工科大学デザイン工学部の学生による案を基に設計され、全て異なるデザインと名前を採用した個性のかつ機能的な造りとなっています。

現在営業中の新築9棟とリフォーム済みの3棟に加え、今秋には新たに新築3棟、リフォーム2棟が完成し、全17棟でのグランドオープンを予定しています。**朝日町民利用の際は1棟5,000円引き**となるキャンペーンも実施していますので、ぜひご利用ください。

▶問合せ Asahi自然観 ☎84-7111

いにもお伺いしました。参加した皆さんの輝く笑顔や、会場の楽しそうな雰囲気がとても印象的で、素敵な思い出となりました。皆さんのこれからの人生が輝かしいものとなるよう願っています。

5月の大型連休は、各地の祭りや例大祭も取材させていただきました。貴重な経験をさせていただいたことに加え、各地区の皆さんに温かく迎えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も取材で伺えることを楽しみにしています。

白田 一暉

春夏秋冬
編集後記

皆さんとの関わりに
感謝して

今月号は、広報担当となって初めてゼロから制作した広報紙となりました。お気づきの点やご意見など、教えていただけると励みになります。

さて、今回は町立図書館を特集しました。取材を通して、私自身も知らなかったことをたくさん教えていただき、とても勉強になりました。この特集をきっかけに、図書館や小説・漫画を問わず「本」そのものに興味を持っていただけたら幸いです。

また、4月末には二十歳のつど

ホームページ▶



Instagram▶



町公式ホームページ内“まちの写真館”および町公式 Instagram には、本紙の記事に関連した写真や動画を掲載しています。ぜひご覧ください